



枚方市総合文化芸術センター(本館)に L-Acousticsを採用いただきました



2021年9月、大阪府枚方市に新築オープンした枚方市総合文化芸術センター(本館)は、客席数1,468席の関西医大 大ホールと、325席の関西医大 小ホールで構成されています。

大ホールは、音楽・演劇などの文化芸術公演をはじめ、集会など多目的に使用可能な高機能ホールで、内装壁面にレンガを採用し、豊かな響きの実現に寄与しています。中ホール規模の利用ニーズに対応できるよう1階席(836席)のみの利用にも対応します。

小ホールは、演劇や音楽公演、発表会など、様々なジャンルの公演に対応する高機能ホールで、大ホールと同じく内装壁面にレンガを採用しています。

今回、大ホール・小ホールでL-Acousticsを採用いただき、枚方市のご担当である、枚方市施設整備室 井上様、ホールの音響管理ご担当様(株式会社大阪共立様所属)、音響設備の施工を担当されたヤマハサウンドシステム株式会社 技術部技術課 田村様にお話を伺いました。

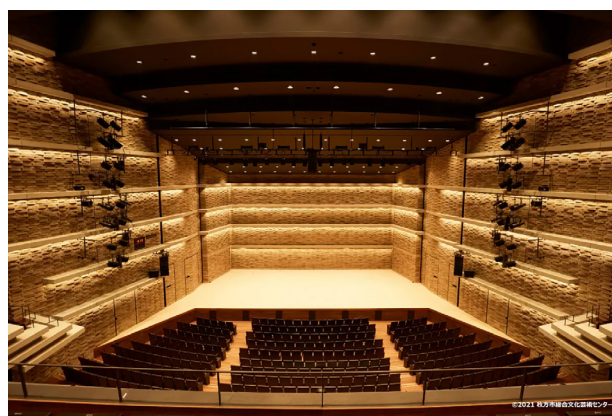
施工時に有効に使われた Soundvision

■ ヤマハサウンドシステム株式会社 技術部技術課 田村様

必要なスピーカーの台数を算出し、スピーカーの配置や角度に問題がないかを検証するためにSoundvisionを用いました。実際に施工してみて、シミュレーションと設置後の結果に差異が見られなかったのが、非常に有効なツールだと感じています。

L-Acousticsさんのスピーカーは指向性の制御がしっかりとされているので、エリア内にクリアな音を提供出来ます。大ホール・小ホール共に、露出での設置をすることでスピーカーの性能を最大限生かせることができました。

Soundvisionで細かい寸法や角度を検証できますし、吊り金具もシステム化されているのでスムーズな施工を行えました。



関西医大 大ホール



関西医大 小ホール





大ホール プロセニウムスピーカー Kivall



反射板の間に設置された Kivall, SB15m、インフィルスピーカー X8(左)、
小ホール サイドスピーカー Kivall, SB15m(右)



■ 竣工後のご感想をホールの方々に伺いました。

■ 枚方市施設整備室 井上様

9月にオープンしたばかりですが、演奏者から非常に響きが良く楽に演奏できると聞いています。スピーカーの音を聴いた印象としては凄く良い音で感動しました。

■ 音響管理ご担当様(株式会社大阪共立所属)

音の印象は、L-Acoustics 特有のスピーカーを近くに感じることができ、とても良い感じです。

大ホールは、基本的なエリアカバーは出来ているのですが、1階席の奥までさらに明瞭にするために、昇降できるプロセニウムスピーカーを、少し下げようと考えています。その場合 Kivall 間の角度を変更する必要がありますので、まずは Soundvision を使って検証してみようと思います。また、移動型の KARA を使用した時、Soundvision でスピーカー間の最適な角度を決め、オートフィルターを使って算出されたフィルターを LA Network Manager で取り込んだだけで、細かなスピーカーチューニングをする必要がなく、それだけで本番に臨めました。

■ 導入機材

関西医大 大ホール

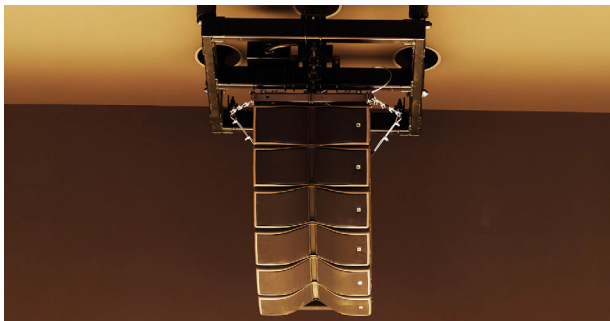
プロセニウムスピーカー：Kiva II × 9 台
 サイドスピーカー L/R：Kiva II × 14 台、SB15m × 2 台
 インフィルスピーカー L/R：X8 × 2 台
 2F サイドバルコニー補助スピーカー：X8 × 2 台
 3F 後方客席補助スピーカー：X12 × 5 台
 はね返しスピーカー：X8 × 2 台、X12 × 2 台
 アンプ：LA4X × 8 台

関西医大 小ホール

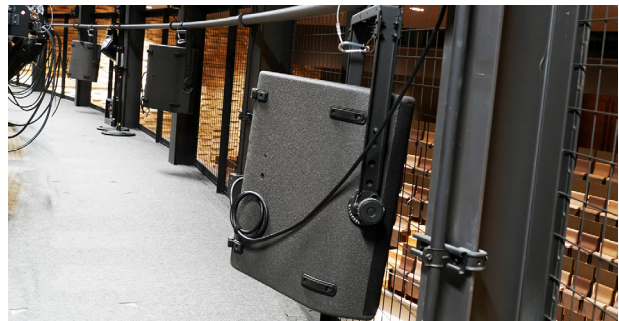
プロセニウムスピーカー：Kiva II × 6 台
 サイドスピーカー L/R：Kiva II × 10 台、SB15m × 2 台
 はね返しスピーカー：X8 × 2 台
 アンプ：LA4X × 4 台

大ホール・小ホール共用

移動型スピーカー：Kara × 12 台、SB18 × 2 台
 アンプ：LA12X × 4 台



小ホール プロセニウムスピーカー Kivall



大ホール 3F 後方客席補助スピーカー X12

枚方市総合文化芸術センター本館 URL : <https://hirakata-arts.jp/>